

2026年3月26日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社
(東証プライム / 証券コード：3762)

C#/VB.NET 対応静的解析・動的解析ツール「dotTEST 2025.3」の 販売を開始

静的解析の LLM 連携機能拡張により開発者の修正作業をサポート／セキュリティ関連ルールの強化

テクマトリックス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：矢井隆晴、以下「テクマトリック
ス」）は、米国 Parasoft Corporation（本社：米国カリフォルニア州、最高経営責任者：Elizabeth Kolawa、以
下「Parasoft 社」）が開発した C#/VB.NET 対応静的解析・動的解析ツール「dotTEST 2025.3」の販売を 2026
年 3 月 26 日より開始します。

dotTEST は、高品質な .NET アプリケーションの開発とテスト工数の大幅削減を強力にサポートする C# 言
語/VB.NET 言語に対応した静的解析・動的解析ツールです。3,000 個以上のコーディングルールをもとに
ソースコードを静的に解析し、プログラムの問題点やファイルを横断した処理フローに潜む検出困難なエ
ラーを検出します。また、.NET アプリケーション実行中のカバレッジ情報を収集し、テストの抜け漏れの
確認を容易にします。開発工程に dotTEST による静的解析やカバレッジ情報収集を組み込むことにより、テ
ストの効率化とソースコードの品質向上が期待できます。

このたびのバージョンアップでは、MCP（Model Context Protocol）サーバー拡張機能の追加により、AI
エージェントや LLM（大規模言語モデル）ベースのコーディングアシスタント（GitHub Copilot など）との
連携が可能になりました。MCP をサポートする Visual Studio や Visual Studio Code といった開発環境で利用
でき、静的解析結果へ直接アクセスし、検出された違反の確認や推奨事項に基づく重要度の判断、具体的な
修正案の提示に加え、ユーザーガイドを参照して機能説明や問題解決方法を確認できるようになりました。
さらに、LLM 連携機能では、AI 自動修正機能が新たに追加され、コマンドラインで生成した静的解析レ
ポートを基に違反箇所を自動修正できます。修正作業が自動化され、プロジェクトリポジトリ内の作業ブラ
ンチへ修正済みコミットが作成されます。

環境面では、アプリケーションカバレッジ機能が強化され、新しいカバレッジエージェントのユーザーイ
ンターフェースが導入されました。手動テスト・自動テストいずれの場合も、.NET ランタイムで管理され
たマネージドコードのカバレッジデータを取得できます。このほか、サポート対象 IDE に Visual Studio 2026
が追加され、.NET 10 および C# 14 で記述されたコードの解析にも対応しました。

セキュリティコンプライアンスルールが拡充され、CWE 4.18（Common Weakness Enumeration）、CWE Top
25 2024、さらに CWE Top 25 + On the Cusp 2024 に基づくルールが追加されました。専用のダッシュボード
とウィジェットを利用することで、dotTEST による静的解析の結果から各基準（CWE、OWASP、PCI DSS
など）に則った遵守サマリーレポートや逸脱のレポートをいつでも確認できます。

テクマトリックスは、Parasoft 社製品の国内総販売代理店として、ソフトウェア開発に携わるすべてのお客様の課題を解決する最適なツールとして、dotTEST の販売、マーケティング、ユーザーサポートなどの活動を強化してまいります。

【dotTEST 2025.3 の新機能・改善点】

● MCP サーバー拡張機能

AI エージェントや GitHub Copilot などの LLM ベースのコーディングアシスタントとの統合を可能にする MCP サーバー拡張機能が追加されました。Visual Studio、Visual Studio Code など、MCP サーバーをサポートする LLM 対応の開発環境で利用できます。

この機能により、静的解析結果にアクセスして、検出された違反の確認、推奨事項に基づいた重要な問題の優先順位付け、正確な修正の提案や、ユーザーガイドにアクセスして機能の説明、具体的な問題の解決方法を提案してもらうことも可能です。



図 1：MCP サーバー拡張機能の利用イメージ

● AI 自動修正機能による静的解析結果の修正

コマンドラインから静的解析で生成されたレポートをもとに、検出された違反を自動的に修正します。LLM 連携機能により違反内容の修正が行われ、プロジェクトリポジトリ内の作業ブランチへ修正済みのコミットが作成されます。マージ前には、担当者が目視でレビュー・承認を行うことができます。



図 2：AI 自動修正機能の利用イメージ

※LLM 連携機能には LLM プロバイダーの利用契約は含まれておりません。利用者が個別に契約する必要があります。

※OpenAI REST API と互換性があるチャットコンプリーションエンドポイントを持つ LLM のみのサポートです。

- **アプリケーションカバレッジ機能の強化**

新しいカバレッジエージェントのユーザーインターフェースが導入されました。手動テストおよび自動テストの実行中に、マネージドコード（.NET ランタイムによって管理された状態で動作するコード）のカバレッジデータを取得できます。

- **Visual Studio 2026 のサポートを開始**

サポート対象 IDE に Visual Studio 2026 が追加されました。

- **.NET 10、C# 14 のサポートを開始**

サポート対象のフレームワークに .NET 10 が追加されました。
また、C# 14 で書かれたコードの解析がサポートされました。

- **セキュリティコンプライアンスルールの追加**

共通脆弱性タイプ一覧 CWE 4.18、最も危険度が高い 25 種類の弱点をまとめた CWE Top 25 2024、およびその次に重要な弱点を含む CWE Top 25 + On the Cusp 2024 のルールが追加されました。

- dotTEST は以下の 18 種類のセキュリティコンプライアンスルールに対応しています。

【dotTEST のセキュリティコンプライアンスルール】

- ・ CWE 4.18
- ・ CWE Top 25 2023
- ・ CWE Top 25 2024
- ・ CWE Top 25 + On the Cusp 2023
- ・ CWE Top 25 + On the Cusp 2024
- ・ DISA-ASD-STIG
- ・ HIPAA
- ・ Microsoft Secure Coding Guidelines
- ・ OWASP API Security Top 10-2019
- ・ OWASP API Security Top 10-2023
- ・ OWASP ASVS 5.0.0
- ・ OWASP Top 10 2017
- ・ OWASP Top 10 2021
- ・ PCI DSS 3.2
- ・ PCI DSS 4.0
- ・ Security Assessment
- ・ UL 2900
- ・ VVSG 2.0

セキュリティコンプライアンスの遵守を促進する「セキュリティコンプライアンスパック」の静的解析ルールを用いてプログラムを解析することにより、C#や VB.NET での開発におけるセキュアコー

ディングの推進を強力にサポートします。また、解析結果から生成されるコンプライアンスの遵守／逸脱レポートをリアルタイムで参照できます。

※セキュリティコンプライアンスルールによる静的解析および遵守／逸脱レポートの参照には、セキュリティコンプライアンスパックオプション（別売）が必要です。

【Parasoft DTP 2025.2（レポート機能）の新機能・改善点】

● MCP サーバー連携機能の導入

MCP サーバーとの連携により、LLM や GitHub Copilot などの AI ツールと接続できるようになります。本機能により、テスト結果の参照、テスト失敗の原因分析、テストの安定性評価、潜在的な根本原因の推定など、AI による高度な分析が可能になり、テスト状況をより正確に把握できます。



図3：MCP サーバー連携機能の利用イメージ

● 機械学習モデルを使用したウィジェットの追加

新たに追加された「テスト失敗の分類」ウィジェットは、機械学習モデルが失敗したテストケースにラベルを付けることで学習し、類似の失敗したテストを自動的に分類します。これにより原因調査の工数が削減され、優先順位付けをより効率的に実施できます。

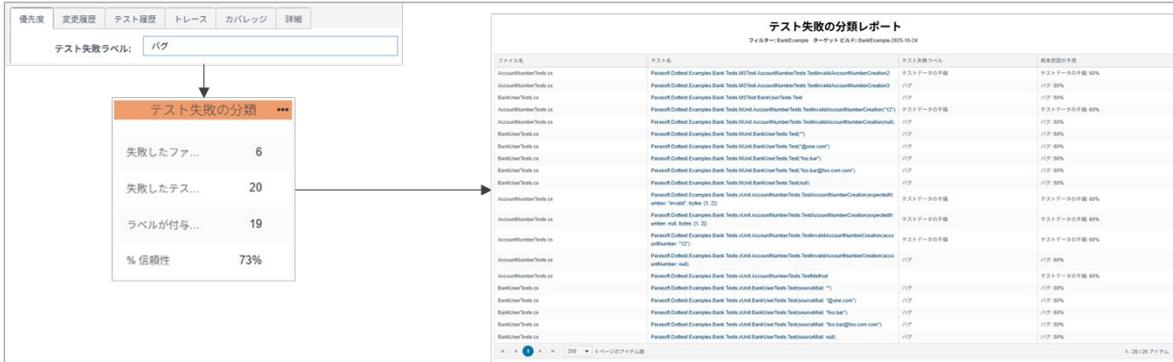


図4：「テスト失敗の分類」ウィジェットの利用イメージ

- **コンプライアンスの遵守を促進するコンプライアンスパックの更新**

CWE 4.18 と CWE Top 25 2024、CWE Top 25 2024 + On the Cusp が新たに追加されました。セキュリティコンプライアンスレポート（遵守サマリーレポートや逸脱のレポート）は、8種類のレポートを表示・出力できます。

コンプライアンスパックを導入することにより、dotTEST による静的解析の結果から CWE や、OWASP に則った遵守サマリーレポートや逸脱のレポートをいつでも確認できるようになります。ガイドラインの遵守状況の説明が容易になるだけでなく、未遵守箇所を早期に特定し必要な措置を講ずることにより、欠陥のあるソフトウェアから生じるビジネスリスクを排除することが可能になります。また、チームが最大限に効率的に作業できるよう、違反をナビゲートし優先度を設定するための合理的なワークフローを提供します。

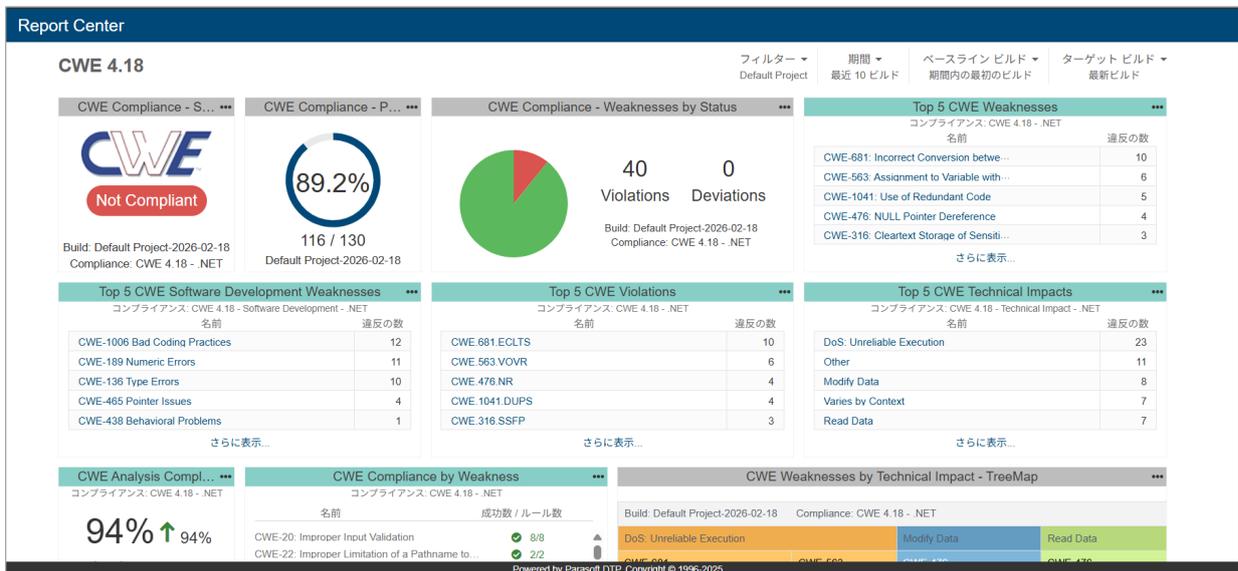


図5：CWE4.18用ダッシュボードイメージ

【Parasoft DTP のセキュリティコンプライアンスレポート】

- ・ CWE 4.18
- ・ CWE Top 25 2024
- ・ CWE Top 25 2024 + On the Cusp
- ・ OWASP Top 10 2021
- ・ OWASP API Top 10 2019
- ・ OWASP API Top 10 2023
- ・ PCI DSS 4.0
- ・ UL 2900

※本機能を利用するには、セキュリティコンプライアンスバックオプション（別売）が必要です。

製品の詳細につきましては web ページをご確認ください。

<https://www.techmatrix.co.jp/product/dottest/>

-
- ・ **販売開始日**
2026 年 3 月 26 日
 - ・ **出荷開始日**
2026 年 3 月 26 日

2026 年 3 月 26 日において、保守サービスをご契約いただいている dotTEST ユーザー様には、「dotTEST 2025.3」バージョンアップ製品を、無償でご提供します。

■Parasoft Corporation について

Parasoft 社は、30 年以上にわたり、ソフトウェアのバグがアプリケーションに混入する原因と仕組みを研究し、数々のソリューションを提供してきました。Parasoft 社のソリューションは、ソフトウェア開発ライフサイクルにおける継続可能なプロセスとして、品質改善活動を支援し、堅牢なソースコードの実装、無駄がなく機能性の高いシステムの構築、安定したビジネスプロセスの実現を可能とします。数々の賞を受賞した Parasoft 社製品は、長年の研究成果と経験から得られたノウハウを自動化し、エンタープライズシステムから組み込みソフトウェアまで、どのようなタイプのソフトウェア開発においても、生産性向上と品質改善を実現します。Parasoft 社のコンサルティングサービスは、ツールでは解決できない問題の解決や開発プロセスの改善など、Parasoft 社の 30 年以上の経験を直接お客様に提供し、お客様の改善活動を支援します。詳細は Web サイト：<https://www.parasoft.com/> をご参照ください。

■テクマトリックス株式会社 について

テクマトリックス（東証プライム：3762）は、お客様のニーズに沿った最適な IT インフラと IT ライフサイクルをワンストップで提供する「情報基盤事業」、蓄積された業務ノウハウを実装したアプリケーションの提供により顧客の課題解決を実現する「アプリケーション・サービス事業」、「医療情報をみんなの手に。そして、未来へ。」をテーマに健康な社会を支える医療情報インフラの構築に取り組む「医療システム事業」の 3 事業を展開し、顧客企業のビジネスモデル変革と競争力の強化をサポートしています。詳細は Web サイト：<https://www.techmatrix.co.jp/index.html> をご参照ください。

<本件に関するお問い合わせ先>
テクマトリックス株式会社
ソフトウェアエンジニアリング事業部 Parasoft dotTEST 担当
E-mail : parasoft-info@techmatrix.co.jp
TEL : 03-4405-7853

*本原稿に記載されている社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。